

北九州

10/1
2017
平成29年 No.1299
市政だより



市政・生活情報や申請窓口の問い合わせ
北九州市コールセンター
☎671-8181 年中無休
8時～21時

主な内容

- 特集 エコタウン20周年 12
- トピックス「弾道ミサイルが落下する可能性がある場合の行動について」など... 34
- まちがいファイブ 5
- ※情報ステーションは11ページから始まります
- *最終ページは若松区の情報と人口データ

北九州市ホームページ <http://www.city.kitakyushu.lg.jp/>
編集・発行 北九州市広報室広報課 〒803-8501 北九州市小倉北区内1-1 ☎582-2236

子ども記者が行く 北九州エコタウン



今回取材に行った
子ども記者(左から)

あやめが丘
小学校5年生

島田創一朗くん
本多優斗くん
前田詩音さん



特集 エコタウン20周年

本市は、「ものづくりのまち」としての産業基盤や海外でも活用される技術力、公害克服の過程で培われたノウハウなどを生かし、循環型社会の構築を図る「北九州エコタウン事業」を推進しています。その中心となるのが環境・リサイクル企業が集まる「北九州エコタウン」です。

「北九州エコタウン」での取り組みを、これからの北九州市を担う子どもたちが記者となって取材しました。

国内だけでなく、海外からも視察や見学に訪れる人が多い北九州エコタウンは若松区の響灘地区にあります。

環境を守る技術の研究施設やリサイクル工場などが40近くもあり、ごみや使わなくなった物をもう一度役に立つ物や資源へと変え、ごみをゼロにすること(ゼロ・エミッション)に取り組んでいます。

このように、資源やエネルギーを大切に繰り返し使うことは、循環型社会といわれ、本市の最先端の取り組みは、世界的に高い評価を得ています。

今回の子ども記者の取材では、エコタウンのことや環境・リサイクルについて学べるエコタウンセンター、自動販売機、ペットボトル、自動車をリサイクルする工場を訪れました。3R活動や資源・エネルギーの大切さについて、一緒に考えてみましょう。

*3R活動：リデュース(Reduce)ごみを減らす、リユース(Reuse)繰り返し使う、リサイクル(Recycle)資源にするの頭文字をとった言葉